

南の国からの  
おいしいゼリーの贈り物

今年も、南富良野町の児童・生徒にも沖縄県本部町の初夏を味わってもらおうと、アセローラゼリーが町内各小・中学校に届けられ、給食の時間に全員でよろこんで食べていました。

本部町ではアセローラが初出荷された1999年5月12日を記念して「5月12日をアセローラの日」として制定(日本記念日協会登録)し、記念日には、記念事業の一環として町内小中学校の給食にアセローラゼリーが配膳されま



アセローラゼリーを食べた落合小学校の全児童の皆さんは「甘酸っぱくておいしいね」と話しながら食べ、特に6年生はこれから本部町を訪問することに思いを募らせていました。

本部町とは国民体育大会カヌー競技会がとりもつ縁で、気候・風土の違いを活かした北と南の町の交流が始まり、平成8年には友好の町の「盟約調印」が交わられています。平成2年から続けている児童の派遣事業「南の国の真夏に挑む体験の旅」が、本年度で21回目を迎え、6月に事前研修などを行い、6月27日(月)から7月1日(金)までの4泊5日で町内5校の小学6年生全員(17名)が本部町を訪問します。

本部町では、学校での共同学習や琉球ガラス工芸体験、ホームステイなどを通して文化や歴史、生活様式の違いなどの見聞を深め、南の国の真夏を体験してきます。

回富良野剣道連盟会長杯少年剣道大会団体低学年の部に下金山の武田青空(下金小2年)くん・渋谷昌樹(下金小4年)くん・及川なほ(下金小4年)さん・永井春輝(下金小4年)くんと金山の石道巧真(金小2年)くんの5名で団体戦に出場し、見事優勝しました。

町内には剣道少年団がないため、下金山の子どもたち8名と金山の子どもたち2名が近隣の山部剣道少年団に所属し、毎週2回(火・木曜日)山部で練習しています。応援した父母は「昨年優勝したメンバーが3名残り、プレッシャーの中で、練習の成果を出せてよかったです」と子どもたちの大健闘を喜んでいました。

### ～地デジの準備はお済ですか？～

7月24日でテレビアナログ放送は終了します

テレビアナログ放送は7月24日を以って終了し、地上デジタル放送に完全移行します。移行まで2カ月を切りました。ご覧いただいているテレビ画面に「アナログ」の表示やチャンネルの放送終了のお知らせなどが流れていませんか。

「アナログ」などの表示がある場合、そのままではテレビをご覧いただけなくなりますので、デジタルテレビに買い換えられるか、

○実施日時  
・6月15日から8月26日  
・午前10時から午後5時まで  
(※休日 6月・8月は土・日曜日、7月は毎週水曜日)

○お問い合わせ先  
・デジサポ道北 ☎0166-3050101  
平日9時から21時  
土・日・祝日9時から18時

地デジ対応テレビやチューナーを購入されてもアンテナや住宅への引き込み線や室内線の劣化・分配器やブースターの地デジ未適合などにより、全局または一部の局が受信できないことがあります。それぞれ交換が必要になる場合がありますので、早めの対応をお願いします。

地デジチューナーを購入入されるなどの対応が必要になります。総務省テレビ受信者支援センター(デジサポ道北)では地デジ臨時相談が実施されます。まだ、地デジに対応されていない方などで、「地デジ」に関する相談やお問い合わせについてご要望がありましたら、ご自宅にスタッフがお伺いし、無料の「地デジ相談」を実施いたします。

# カメラレポート

CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係(☎52-2115)までお知らせください。

## 通過車両へ観光PR 街路灯にペナント設置(4月23日)

地域貢献活動の一環として、今年も南富良野町建設業協会(永井敏広会長)の皆さんにより、町内の国道沿いの街路灯などに観光PR用のペナントが取り付けられました。例年春の観光シーズンを前に、建設業協会の皆さんにご協力いただき設置しているもので、幾寅地区の国道38号線と道々沿いには、昨年株式会社南富ホームから町に寄贈を受けた映画「鉄道員」の描かれたペナントと、なんぶエゾカツカレー推進協議会が昨年作製した「なんぶエゾカツカレー」と書かれた真新しいペナントが初披露されました。



また、金山と下金山地区の国道237号線沿いには、花人街道のロゴとカーヌーが描かれたペナントが取り付けられ、それぞれ通過するドライバーなどに向けた観光PRの一翼を担っています。

## 模擬火災訓練の実施(4月22日)

春の火災予防運動の一環として、南富良野支署と消防団第1分団の合同による模擬火災訓練が、情報プラザ前において行なわれました。緊急出動と放水や救助訓練などが本番さながらに行なわれ、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮していました。



## 東日本大震災チャリティーイベント 「親子エアロビクス」開催(4月29日)

東日本大震災の被災者への支援を目的に、情報プラザにおいて開催され、参加した親子は、楽しく心地よい汗を流しました。

このイベントは、みなみふらのSHCスポーツクラブゆっくの緊急企画として開催され、集められた参加料は、講師の森田裕子さんの協力により全額災害義援金として、日本体育協会へ送られました。



## 本町に避難される東日本大震災の被災者のために(4月26日)

町社会福祉協議会では、東日本大震災で被災された方が本町に避難された際に、一世帯25万円を限度に生活の再建支援資金として、無利息で貸し付けできる貸付制度を始めたことから、貸付資金の原資に対する寄附として、富良野ライオンズクラブ南富良野支部から10万円が協議会へ贈られました。



まちの話題・出来事  
カメラレポート  
地域活動レポート  
総合型地域スポーツクラブ  
後期高齢者医療制度  
教育委員会通信  
こんにちわ保健師です  
商工業振興アシスト制度

まちの話題・出来事  
地域活動レポート  
総合型地域スポーツクラブ  
後期高齢者医療制度  
学校だより南富良野短歌会  
発信@みなくる  
子育て支援センター